

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復実技6							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	1・2期	長坂 愛		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	柔道整復実技			実技	1	20	
科目概要							
<p>下肢骨折の発生機序、分類、症状などから整復・固定技術などについて自ら考え学び、臨床に結びつけられるような実習を行うことを目標とする。それぞれの骨折の合併症や保存療法と観血療法の境界点などもしっかり捉えられるように学習する。</p>							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> 本講義を学習することで達成されるべき目標		下肢骨折の整復及び固定技術を所得することを目標とする。それぞれの骨折の特徴を柔道整復理論から学び、骨折以外の外傷との鑑別の根拠を症状から判断できる能力を身につけ、臨床に役立てる。また保存療法と観血療法の境界が何かを理解する。					
<b>到達目標(SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		1. 体表解剖を理解し、的確な診察ができる。 2. 骨格模型、シュミレーターを用い、3次元的に骨片転位を理解できる。 3. 骨片転位を把握し、正しい整復操作をすることができる。 4. それぞれの骨折に合わせ、適切な固定具を用い、包帯を丁寧に巻ける。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学:骨、関節、筋について。運動学:可動域、種々の検査法。柔整理論:下肢の骨折の知識を活かし、自ら整復や固定を考える心構えを準備するよう心掛けること。							
教科書・参考書							
柔道整復学:理論編、実技編							
受講上の注意							
柔道整復学:理論編を修得した上で実技に入る。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (クイズ/クイズ)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)				100			100
<a href="#">実技試験実施要項</a>							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	オリエンテーション、大腿骨頸部骨折(病態把握・整復)			P.290～293	白衣・教科書・短パン・包帯		
第2回	大腿骨頸部骨折(固定)			P.293～297	白衣・教科書・短パン・包帯		
第3回	大腿骨骨幹部骨折(病態把握・整復)			P.298～302	白衣・教科書・短パン・包帯		
第4回	大腿骨骨幹部骨折(固定)			P.302～304	白衣・教科書・短パン・包帯		
第5回	大腿骨頸部骨折・大腿骨骨幹部骨折整復・固定			P.290～304	白衣・教科書・短パン・包帯		
第6回	膝蓋骨骨折(病態把握・整復)			P.305～308	白衣・教科書・短パン・包帯		
第7回	膝蓋骨骨折(固定)			P.305～308	白衣・教科書・短パン・包帯		
第8回	下腿骨骨幹部骨折(病態把握・整復)			P.309～310	白衣・教科書・短パン・包帯		
第9回	下腿骨骨幹部骨折(固定)			P.309～313	白衣・教科書・短パン・包帯		
第10回	下腿果部骨折(病態把握・整復)			P.314～319	白衣・教科書・短パン・包帯		
第11回	下腿果部骨折(固定)			P.314～319	白衣・教科書・短パン・包帯		
第12回	膝蓋骨骨折・下腿骨骨幹部骨折・下腿果部骨折整復・固定			P.309～319	白衣・教科書・短パン・包帯		
第13回	踵骨骨折(病態把握・整復)			P.320～327	白衣・教科書・短パン・包帯		
第14回	踵骨骨折(固定)			P.320～327	白衣・教科書・短パン・包帯		
第15回	中足骨骨折(病態把握・整復)			P.328～339	白衣・教科書・短パン・包帯		
第16回	中足骨骨折(固定)			P.328～339	白衣・教科書・短パン・包帯		
第17回	足趾骨折(病態把握・整復・固定)			P.340～343	白衣・教科書・短パン・包帯		
第18回	踵骨骨折・中足骨骨折・足趾骨折整復・固定			P.320～343	白衣・教科書・短パン・包帯		
第19回	実技試験				白衣・教科書・短パン・包帯		
第20回	まとめ				白衣・教科書		
実務経験と本講義との関連について							
接骨院・整形外科に19年間携わった実績を踏まえ、接骨院・整形外科・トレーナーの実務者の観点から講義する。							
メールアドレス							
nagasaka-t@nihonisen.ac.jp							